

定 義 文 化 財
屋 湾 の 海 神 祭



Vol. **125** 2020. 3(隔月刊)

社会福祉法人 一心福祉会
<https://www.isshinfukushikai.or.jp/>

絢爛優美な七段飾りを背に雛祭りを楽しむ
手作りの「ひな人形」ステキでしょう！
デイサービスセンターやんばる

小規模多機能ホーム「あがり」事業廃止

経営改善の方向見出せず

平成二十四年度に開所した小規模多機能ホーム「あがり」は、三月末をもって事業を廃止する。

同施設は、ここ数年経営的に低迷の状態が続いていたが、改善の方向が見出せず、これ以上持ちこたえられないと判断した。

なぜ廃止せざるを得なかったか。

一、稼働率の低迷

開所以降、通算で稼働率は七十九・三％で健全経営のためには九十五％以上の稼働率が必要だが、これを大きく下回る稼働で低迷していた。

小規模多機能の三つのサービスについても「通所」一日平均十・八人、「宿泊」五・九人、「訪問」三・六件。

稼働率の低迷は、高齢化が進む東村において要介護の量的減少を反映したものではなく、同施設のサービスが地域にマッチしていない事に起因すると判断するに至った。

二、収支状況は悪化の一途

同施設の過年度の累計赤字は三千万円余（二〇一九年度推計

で八百万円、これを加えると三千八百万円）健全経営には収支差額で五％の黒字が必要とされているが、この健全経営ラインでみると、約五千万円の収益不足となる。特に問題なのは年度を追うごとに赤字が増え、一事業年度八百万円超（直近二年度連続）の赤字経営に立ち至っている。

三、施設環境の安全性にも問題

小規模多機能のサービスのうち、特に「宿泊」サービスは災害時に緊急避難せざるを得ないなど、施設環境の安全性に問題があった。

昨今は自然災害が多発し、安全性についてより厳しい対応が求められる傾向にあり、「避難」等も今まで以上に多くなることが予想される。

四、事業のあと始末

二月末現在、同施設の利用者は十三名。継続して必要なサービスが受けるられるよう、当法のショートステイ（短期入所生活介護）、デイサービス、グループホームの活用を用意している。



台風被害の様子



全体写真



新鮮野菜を地域へおとどけ やんばるの森ビジターセンターへ納品

—えすの里—



収穫後の仕分け作業

二月二十二日の二時
二十二分にグランドオー
ブンした「やんばるの森
ビジターセンター」にえ
すの里も生産者登録を行
い、早速ジャガイモを百
袋納品して来ました。
えすの里の新鮮野菜が
店頭に並んでいますの
で、皆さん是非一度遊び
に来て下さい。
えすの里としても、生
活介護・就労センター協
働で次年度以降もビジ
ターセンターへ野菜の提
供が出来る様に取り組ん
で行きます。



初、納品!! 緊張~!!



自分達で値札を貼ります。

えすの里では、拠点全
体で「虐待防止法」につ
いての施設研修が行われ
ました。
今回は虐待のグレー
ゾーンと、なぜ虐待は起
こるのか?を氷山モデル
の紙芝居などで説明して
もらい、実際にどの様に
改善したら良いかグルー
プ討議しました。言葉使
いや、丁寧な支援は基本
だが、利用者の行動やサ
インを感じる・気付く・

虐待防止研修

—えすの里—



深掘りして探求する事も
職員のスキルとして必要
である事を全体で共有す
る事ができました。
今後も利用者さんや家
族が安心して生活できる
施設を日々追及して行き
たいと思います。



「伝わりやすさ」を工夫した研修でした。

移乗支援機器 リフト体験会

一心療護園 移乗支援プロジェクト
古賀 波瑠子

一心療護園では、一月二十九日に移乗支援機器リフト体験会を開催致しました。当施設では移乗支援に伴う介助者の腰痛問題が深刻化しています。

今年度はこの問題を改善する為、移乗介助改善プロジェクトを発足し、福祉機器を活用した介助方法を現在実践中です。今回はアビリティーズという業者の方と共同企画し、床走行型リフトを使った移乗支援を体験しました。職員のみならず、利用者様の興味・感心も高く、実際にリフトで移乗してもらおうと「楽だね」「身体の負担は持ち上げるよりかなり軽減できそう」という意

見が多く聞かれました。

福祉機器を導入するにあたって、改善すべき課題は多くありますが、介助される側・する側が共に楽に安全に支援できるように、今後も積極的にプロジェクトを進めていきたいと思えます。



リフト体験の様子

小規模多機能 あがり

ミニドライブ・桜見

二月八日、あがりでは午後の余暇活動として、「福地ダム」と「東村山と水の生活博物館」へ桜見物も兼ねドライブへ出掛けました。天気も良く、「桜も綺麗だったし、イノシシも見れたし、最高さー」「桜綺麗だった、楽しかった」と喜びの声が聞かれ、楽しい一日を過ごされた様子です。

池原 さゆり



桜きれいだね～気分上々♪

グループホーム つつじ苑



フシカズづくり

日中活動の時間に地域の方から頂いた、沢山の太根でフシカズ作りを行いました。見守る職員をよそに利用者様は見事な包丁さばきを見せていました。カットされた太根は、しっかりと天日干しされ、おいしいフシカズになり、食卓に出されましたが、口々に「上等に出来た、おいしいさ」と喜ぶ姿が見られました。近々、皆で植えたじゃがいもの収穫も予定しています。どんな料理にしようか？今から楽しみにしているつつじ苑の皆様です。

具志堅 藍



上手にできました。



「オ～イ」桜最高で～す！

二月七日・十三日デイサービスでは桜見学に行きまし川と福地ダムに行きまし。桜を見みて詩を考え昔話に花を咲かせていました。天気は雨模様でしたが利用者からは喜びの声も聞けて素敵な見学が出来たと思います。

やかな桜：何時の間にか私の頭は遠い昔にあり。若い頃のある日二人で桜を見た日を思い出してまだあの桜は咲いているのでしょうか。老いてますます思い出せるあの初恋の彼よ、今はどこでどうしているかしら…。

幼い私の実家で咲き乱れる桜めがけて飛んで来た小雀達取ってよと父親に甘えた私今でもおもいます。」

デイサービス 桜見

法人研修

主任・リーダー研修

第二回の「主任・リーダー研修」が開催されました。

今回は「規程」と「リーダーとは？」をテーマに新城靖史施設長に登壇して頂きました。

定款・規定などを確認して感じたのは、法人や職場で積極的に地域と関わる意図が明確になり、何となくから、法人職員としてという意識が強くなりました。

また法人理念でもある、「福祉で村興し」に

についても皆で考え、方向性を確認しました。リーダーという言葉に対するプレッシャーは強くありますが、参加した職員一人一人が今回の研修で学び感じた事を行動に移す事が出来れば、時代と共に変革できる一心福祉会が実現できる。先輩方の想い・法人理念を深く心に落とし込んで、自問自答しながら、今後の業務や地域との関りを大切にしていきたいと思えます。

ボランティア感謝の集い

一心療護園



音楽ボランティアの皆様



利用者さんから記念品贈呈



グループワーク発表の様子



学校を出て金城組という土建会社でトラックを運転しました。当時は



塩屋区
デイサービス利用者
大城伸太郎さん(88歳)

ハンドル一筋七十年



人生はたった一度と言われますが、その人の歩んだ人生は唯一のもの。その貴重な体験を「私のヒストリー」(ライフヒストリー)と題してご紹介する企画です。

友人が個人タクシーに誘ってくれ三名で試験を受けて一緒にはじめました。観光客を相手にしま

それからおじさんの紹介でバス会社に入りまし。新垣平尾バス(琉球バス)の前身でバスの運転手となりました。当時はバス会社からバスを試験場に持って行って試験し二種免許を取りました。会社が琉球バスに変わる時に私は沖縄バスに移りました。路線バスで那覇東線、国頭辺士名線、本部今帰仁等廻りました。辺士名止まりの時は駐車場は許可をもらって我が家の近くに止めていました。子ども達が小さい時は塩屋から乗せ終点の辺士名まで行き一緒に連れて帰ったこともありました。三十年ほど勤めました。友人が個人タクシーに誘ってくれ三名で試験を受けて一緒にはじめました。観光客を相手にしま



金城組のトラック仲間

教習所に行かず、助手席に先輩が座り指導してもらって運転できるようになりました。



個人タクシー「大港タクシー」

した。奥間ビーチからスタートして観光周遊コースを選んでもらい案内しました。新婚さんが多かったです。新婚さんは買い物も多くしてくれます。ショッピングセンターに連れて行って買い物をしてもらいお店からたいへん感謝されました。無事故無違反で緑十字賞の表彰を受けました。二人の息子も運転手を



当初のバスは左ハンドル



バス運転手制服姿



講師のこもれ陽訪問看護
仲嶺邦子さん

「看取りとは」近い将来、死が避けられない人に対して身体的苦痛や精神的苦痛を緩和・軽減するとともに、人生の最期まで尊厳ある生活を支援すること、とあります。研修では、利用者の身体機能等の変化する状況とその対応を分かり易く説明されていたので、すぐに理解することが出来ました。大切なことは、看取りに関わる全員が情報を共有し、それぞれの役割分担をしっかりと理解し冷静

見守りケア勉強会

グループホーム つつじ苑

しています。後を継いでくれて嬉しいです。昨年、運転は卒業しました。免許返納した時に子供たちから感謝状をもらいました。トラック、バス、タクシーと色々な車を運転してきました。やっぱり運転が好きだったんです



講話を聞いて不安が消えた様子のスタッフ

講師はこもれ陽訪問看護ステーションの仲嶺邦子所長。所長の発するひとつひとつの言葉が暖かく、優しい声掛けが印象に残りました。



家族から運転卒業証

第3回

えすの里フェスタ

ワン チーム
~ONE TEAM~



大迫力の獅子舞

今年で三回目を数える、「えすの里フェスタ」を二月十五日に開催しました。

毎年、天気に悩まされた来ましたが、三回目にしてついに晴天に恵まれ、収穫した新鮮野菜や小物・惣菜販売などえすの里色満載の祭りとなりました。

今回も、余興出演や駐車場確保など地域方々に協力頂き、祭りにも沢山の方が遊びに来てもらいました。感謝の気持ちでいっぱいです。

員と一緒に作っていかれたらと思います。

今後もしえすの里フェスタは継続します。えすの



地域の方がたくさん来てくれました。



オペレッタ大成功！

里は来年もワン・チーム！拠点全体で頑張ってくださいますのでよろしくお願いします。



地域の方の余興！感謝です。



初めての試みで混乱するのでは？と思っていましたが、利用者さん、職員の協力で無事に終えることができました。

初めての試みで混乱するのでは？と思っていましたが、利用者さん、職員の協力で無事に終えることができました。

集団健康
診断実施

— 総務室 —

これまで健康診断は、各施設で、日程を設定して実施してきました。また、職員の健康診断も、直接医師会病院に向いて、受けてきました。今回、医師会病院との協議を重ね、二日間で全施設利用者さん、職員の健康診断を実施することになりました。

節分

デイサービスバージョン

招福笑福



「豆袋に手をのばす利用者さん」

東村村民の森 つつじ園

地域貢献活動の一環として今年もつつじ園の新芽取り作業に多くの職員が参加しました。



新緑が目に鮮やかで気持ち良好

東村ホームページより転載
現在発生している新型コロナウイルス感染症が拡大している状況を受け「第三十八回東村つつじ祭り」「第三十八回東村つつじマラソン大会」及び関連イベントの開催は中止です。

新型コロナウイルス対策に伴う面会制限について

沖縄県内におきましても2月24日現在3名の感染が確認されております。

当法人においても最新の注意を払いウィルス対策を行う所存です。

つきましては、2月25日(月)より法人施設内の面会を制限させていただきます。

ご迷惑をおかけいたしますが、ご理解ご協力宜しくお願いいたします。

一心福祉会 老人介護施設入所 待機者状況

施設名	定員	空き状況	待機者
特別養護老人ホーム やんばるの家 (☎0980-44-2288)	50名	0名	28名
デイサービスセンター やんばる (☎0980-44-2033)	33名(1日)	1～2名	5～6名
小規模多機能ホーム いっしん (☎0980-44-2662)	25名	3名	0名
グループホーム きじょか (☎0980-44-3015)	9名	1名	2名
グループホーム つつじ苑 (☎0980-43-3800)	9名	1名	1名

※詳しいお問い合わせは各施設にご連絡ください。

令和2年2月25日現在